

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた当面の対応について

令和2年4月6日

日頃から超顕微解析研究センターの活動にご支援を頂きお礼を申し上げます。

ご承知の通り、新型コロナウイルスの感染者が福岡県内でも急増しています。既に大学からは、感染防止のため、「屋内等の閉鎖空間において、他人との距離が十分に確保できない環境での活動はさける」等の指示が出されています*。（*令和2年3月26日付の総長メッセージなど。）

電子顕微鏡観察は、閉鎖空間での長時間作業となりがちなため、本センターとしても利用者の皆様の健康管理を第一に考えた、適切な対応で臨みたいと思います。このような理由から、当面の間は、以下の暫定的な措置をとらせて頂きたいと存じます。研究室の皆様へもご周知くださいますよう、お願い申し上げます。

(1) 研修会について

本年度の4月と5月は、研修会は中止とさせていただきます。6月以降、状況を考慮したうえで再開したいと思います。

(2) 利用者*に対する技術支援（*既に研修会を受講済みの利用者）

密閉空間での複数人による長時間作業を回避するため、4月は職員による技術支援（つきっきりで行う実験の指導や補助）を控えさせていただきます。5月以降については状況を考慮したうえで従来の支援形態を再開したいと思います。

感染の拡大期における暫定的な措置ではありますが、一時的に皆様へ不自由を強いる形となりますことをご詫び申し上げます。なお研究・教育上の特別な理由から、緊急かつ個別の相談が必要な場合にはご連絡をお受け致します。ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

超顕微解析研究センター センター長 松村 晶
主任 村上 恭和

— 【重要】感染防止にむけたご協力をお願い —

- マシントイムについては、研究室の1名（もしくは2名）の方が利用する形態を設定するなど、室内での密集回避にご協力下さい。
- 装置の利用前後に、手洗いや館内に設置したアルコールでの消毒を毎度実施して下さい。また装置利用の際はマスクの着用を心掛けて下さい。
- 微熱や風邪の症状がある場合はセンターの利用をお控えください。